

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	福祉まつり補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	柴山雅子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	地域福祉の祭典「福祉まつり」を開催し、市全体が福祉について考え、体験し、互いに触れ合う場を提供する。						
事業の概要	さくら市福祉まつり実行委員会を運営するさくら市社会福祉協議会に補助金を交付し、事業運営を支援する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	930	930	930			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	福祉まつり参加団体数	団体	71	73	90	90
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	飲食する模擬店等を復活させ、開催規模をコロナ禍前に戻すことができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市社会福祉協議会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	君島成美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	社会福祉協議会の活動に賛同する方が増加し、市民主体による自主運営比率が高まる。						
事業の概要	社会福祉施設整備費・運営費補助金として、運営費（人件費）に対して補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	33,792	29,075	33,814			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	社会福祉協議会の自主運営比率	%	86.45	82.62	85	85
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	自主運営比率が令和4年度と比較して3.83%減少した。これは分母となる総事業費の減少に伴うものである。今後も自主運営の強化に向けて協議する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	社会福祉施設運営事業			事業開始年度	令和 4年度		
担当課	健康福祉部 高齢課			担当者	安達 恭子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	高齢者等への健康増進、教養の向上や各種相談等を通し、明るい生活の営みに貢献する。施設利用により、生きがいを持った活力ある生活をしてもらう。						
事業の概要	高齢者及び身体障がい者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。（指定管理者：さくら市社会福祉協議会）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	5,591	5,243	5,243			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	3施設の年間利用者数（延べ）	人	5,354	8,064	8,100	8,130
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	趣味の講座やサロンを実施するなどの工夫で、多くの高齢者が健康増進、憩いの場としてセンターを利用し、十分な成果がでている。講座の内容などを工夫し、利用者が増えるよう施設の運営を図っている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	民生委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	竹内浩之		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	民生委員児童委員研修会等に参加することにより、民生委員児童委員としての知識や能力が向上する。						
事業の概要	民生委員児童委員協議会が行う事業（研修会等）に対し助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	8,215		8,178		8,261	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	活動日数	日	6,087	6,368	7,400	7,400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型感染症の影響で訪問活動が制限されていたが、制限が解かれたことで各部会研修活動が再開し活動数も増加した。今後もイベント参加による地域連携や、福祉ニーズの多様化に伴う知識取得のため定例会・研修会を開催し、委員に求められる地域の役割を果たしたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	心配ごと相談事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	柴山雅子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	市民のあらゆる相談に応じる窓口があり、市民が安心して生活を送ることができる。						
事業の概要	毎月1回心配ごと相談を行い、生活上の悩みごと全般の相談を受ける。（さくら市社会福祉協議会への委託事業）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	129	131	141			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	相談者数	人	8	10	13	13
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談者は10人、11件。昨年度より相談者数は伸びたが、まだ周知不足と考えられる。事業実施について市広報紙やホームページを活用し、市民への周知促進に努め心配ごとに寄り添う。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	見守り福祉ネットワーク推進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	健康福祉部 高齢課			担当者	安達 恭子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	要援護者が安全かつ安心して生活できる						
事業の概要	見守り協定を締結した協力事業所等が市と連携し、要援護者を見守り、異変の早期発見と迅速な対応を図ることにより、安全かつ安心して生活できる環境の構築を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,155	1,090	1,169			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	見守りに関する協定件数	件	33	34	35	36
	活動	災害時避難行動要支援者名簿掲載同意者数	件	1,536	1,374	1,404	1,434
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	見守りの体制が整備され、日常生活を送るうえで支援を必要とする方が、安全かつ安心して生活できる環境が維持できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	包括的支援体制整備事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	柴山 雅子		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	制度や分野を超えて地域住民や多様な機関が「丸ごと」つながることで、地域共生社会の実現を目指す。						
事業の概要	相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援、多機関協働、支援プランの作成						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	17,164	17,121	17,275			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	地域共生センターSAKUTOMOがどれだけ相談を受けているか	件	128	95	150	200
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談員の配置を常勤4人としたが、新規件数の大きな伸びはなかった。しかしながら継続的な支援件数が増加し、多機関と連携しながら伴走的支援を行うなど一定の活動ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名		ひきこもり支援事業		事業開始年度		令和 5年度	
担当課		健康福祉部 福祉課		担当者		柴山雅子	
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的		ひきこもり状態にある者及びその家族に対し、支援事業を通して社会参加や自立支援の推進を図ることを目的とする。					
事業の概要		相談支援、居場所の設置、関係機関との連携及び連絡調整、情報発信、対象者の状況に応じた社会参加に向けた支援、対象者の把握、ひきこもりサポーター派遣					
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度		5年度		6年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		136		5,103	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	活動	相談件数	件		9	12	20
	成果	講演会（専門職による勉強会含）	回		1	7	10
達成度の 評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談件数は月1回の出張相談数である。継続相談も月1回の相談枠の対応であるため、件数は伸びなかった。今後は周知に力を入れる。住民向け講演会は講師を2名依頼し、支援者及び当事者双方の話を聞けるよう工夫した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	指定難病患者見舞金支給事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	網野 悠介		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	指定難病患者及び保護者の苦労を見舞う。						
事業の概要	原因不明や治療方法の確立していない難病に罹患した方に見舞金（年額2万円）を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	5,880	6,100	6,500			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	成果	受給率	%	90	94	94	94
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受給者証更新時に申請案内のチラシを配付したことにより受給率が上がった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市遺族会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課			担当者	君島成美		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	各種事業（戦没者合同慰霊祭等）や研修等を通し会員の親睦と交流を深め、会の発展と遺族の福祉向上を図る。						
事業の概要	市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき事業内容を審査し、団体運営費に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	171	213	213			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度実績	5年度実績	6年度計画	7年度計画
	活動	各種事業参加延べ人数	人	133	212	212	212
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により縮小や休止していた事業を再開したため、会員の活動の機会が広がった。本会理念の継承のために、役員が事業内容を工夫して企画し、安全に可能な範囲での活動を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小	業務量	○拡大 ●現状 ○縮小			

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	骨髄等の提供時の経済的負担を軽減することで提供者を支援し、移植の推進やドナー登録の増加を図る。						
事業の概要	骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業所等に対し、助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	4年度	5年度	6年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	140	0	210			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	4年度 実績	5年度 実績	6年度 計画	7年度 計画
	成果	交付申請者数	人	1	0	1	1
	成果	交付申請事業所数	件	0	0	1	1
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	ドナーについての問い合わせあったが、申請者はいなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		